

明治150年記念 開館20周年記念 連続講演会「京都画壇の明治」

5/20~6/17 14:00~15:30 (開場:13:30より) 全5回

(A) 5/20 (日) 谷口香嶠と近代京都の「歴史画」



講師：藤本 真名美 氏 (和歌山県立近代美術館 学芸員)

明治期の美術界では、歴史主題を描いた「歴史画」が流行しましたが、実はこの頃、京都の画家も盛んに歴史を研究しています。竹内栖鳳らとともに「幸野襟嶺門下の四天王」と呼ばれ、歴史画家として京都画壇をリードした日本画家谷口香嶠(たにぐち・こうきょう)を中心に、これまで語られることの少なかった京都の「歴史画」の展開について紹介します。

(B) 5/26 (土) 「日出新聞」記者金子静枝の奮闘の生涯



講師：竹居 明男 氏 (同志社大学 名誉教授)

明治期の京都で発行されていた「日出新聞」。その「日出新聞」の創刊以来、美術記者を勤めていたのが金子静枝です。金子は、記事執筆のかたわら、画家をはじめ多くの人々と交友関係をもち、京都の美術工芸界で幅広い活躍をしました。本講演では、遺品・遺稿等にも触れながら、その人となりや幅広い人脈などを紹介し、金子静枝の奮闘の生涯を跡付けてみたいと思います。

(C) 6/2 (土) どんなひとがいたの？明治の京都画壇 ～流派と個性～



講師：森 光彦 氏 (京都市学校歴史博物館 学芸員)

幕末から明治初期の京都画壇は、近世から続く伝統的な流派を母体としていましたが、やがて維新による社会状況の変化にともない、流派にこだわらない様々な個性が花開くようになります。開化期の自由な気風の中、激変していく画壇において、どのような画家が、どのようなドラマを作ったのでしょうか。描かれた絵画作品を振り返りながらご説明します。

(D) 6/10 (日) いま、明治の日本画が熱い理由



講師：田島 達也 氏 (京都市立芸術大学 教授)

日本画は明治～昭和の間、絶えざる変革を経て今日に至っています。因襲の重しは既に無く、伝統はあえて自分で探しに行く時代となりました。平成も終わりを迎えようという今、日本画はどこへ向かっていくのでしょうか。日本画成立の原点である明治時代前期は、その後の歴史の検討や今後のあり方を考える上で多くのヒントがあります。

(E) 6/17 (日) 近代京都の日本画史入門～明治期を中心に～



講師：植田 彩芳子 氏 (京都文化博物館 学芸員)

京都の日本画といえば、竹内栖鳳や上村松園を思い浮かべる人が多いでしょう。この講演は、これらの大家が生まれる背景となった京都画壇の状況を紹介するものです。明治初年から中期、そして末期にかけて、京都の日本画がどのような歴史をたどり、変貌していったのか、を初心者にもわかるよう、整理してお話しします。

(全講演会共通)

- ・定員：70名(事前申込先着順)
- ・会場：京都市学校歴史博物館



講演会は全て事前のお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

お問合せ：京都市学校歴史博物館 ☎ (075) 344-1305



講演会について

日 時：表面参照

会 場：京都市学校歴史博物館（京都市下京区御幸町通仏光寺下ル橘町 437）

定 員：各日70名（事前申込先着順／定員に達し次第受付終了）

対 象：中学生以上

参加費：無料（別途入館料が必要）合せて常設展・企画展も当日ご観覧いただけます

※手話通訳有（A.D.Eは10日前、B.Cは11日前までに当館へ要予約）

お申込み方法

- ① 講演会名と開催日
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 絡先電話番号
- ⑤ 参加人数（本人含む）

を明記のうえ、下記の方法でお申込みください。定員になり次第、申込を終了とさせていただきます。

電 話：075-344-1305（9時～17時・水曜休館）

F A X：075-344-1327（FAX番号も必ず明記ください）

メー ル：rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp

※パソコンのみ可、携帯不可

FAX・メールでのお申込みの方へのみ、確認後当館より返信いたします。

企 画 展

明治150年記念 京都画壇の明治

2018年4月28日（土）～6月19日（火）

平成30（2018）年は明治元（1868）年から数えて150年という節目に当たります。

学校歴史博物館ではこれを機に、明治期の京都画壇を振り返ります。



小袖幕之図繡珍壁掛下絵 谷口香嶠
明治27年 一般財団法人西陣織物館蔵

京都市学校歴史博物館

京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町 437

TEL：075-344-1305

FAX：075-344-1327

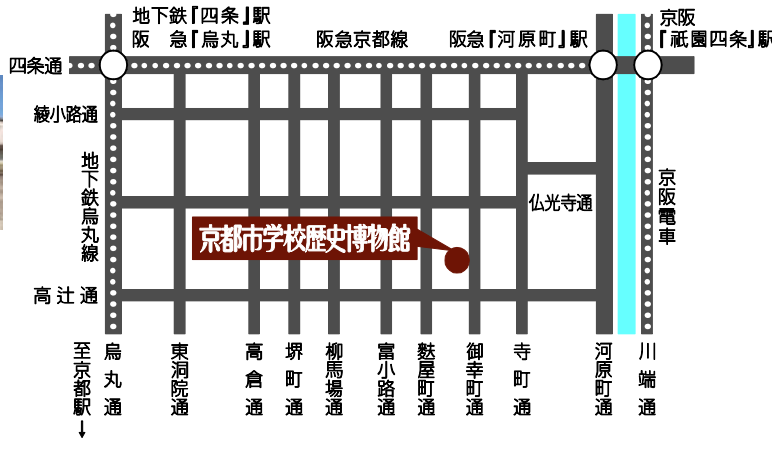
http://kyo-gakurehaku.jp



- ◆ 阪急「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
- ◆ 地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
- ◆ 京阪「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
- ◆ 市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
- ◆ 市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ

※駐車場はございません。

※正面入口、御幸町通からお入りください。



【警報発令時の休講について】 以下の警報発令の場合、休講とします。休講の連絡はいたしませんので、各自で気象情報に注意しご判断ください。

（警報発令時でも、展示室は開館時間中ご覧いただけます）

- ・「暴風警報」→講座開始時刻の2時間前（12時）の時点で、暴風警報が京都市に発令されている場合
- ・「特別警報」→発令時刻警報の種類に関わらず、即時に休講



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

